

**学校教育目標** 自ら考え行動し、誠実で思いやりのある生徒の育成

目指す生徒像

【誠実】

明るく誠実な生徒

【努力】

目標に向かって努力する生徒

【実践】

広い視野をもち実践力のある生徒

道徳教育の全体目標

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領  
県の教育目標

- ・ 自立心や自律心を高め、社会で活躍できる生徒を育てる
- ・ 自己肯定感を高め、自他ともに大切にできる生徒を育てる
- ・ 正義を重んじ、誰に対しても公正、公平にし、差別や偏見のない生徒を育てる

各教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動における関連

国語	教科書の作品を読むことによって、様々な考え方や生き方を知る。そして、自らの日常や行動を振り返り、思いやりのある態度で周囲に接することができる生徒を育成する。
・ 地理 ・ 歴史 ・ 公民	社会の成り立ち、人としての生き方を学び、社会に生きる一員として力を発揮できる生徒を育成する。物事に対する多角的な見方を身につけ、自らの考えをまとめ、発信できる力を養う。
数学	数学的思考・解法の過程を共有する時間をつくり、協働的な学習活動を促し実践する。物事を筋道たてて考え、工夫を重ね根拠に基づいた判断ができる力を養う。
理科	観察・実験を通して探究心を深め、科学的考え方を育成する。また、宇宙の誕生、地球の誕生、生命の誕生、人間の誕生の繋がりを、あらゆる生命が生まれたこの地球の一員として、世界に貢献するための資質の育成に努める。
体育 保健 ・	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全について理解し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。運動やゲームを通して、ルールやマナー、健康や安全について考え、協力することの大切さを学ばせる。
芸術	表現及び鑑賞の活動を通して芸術を愛好する心情と感情を豊かにする。芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。様々な教材により表現の力を高める。
外国語	急速なグローバル化の進展という社会的背景を踏まえ、言語や文化に対する理解を深める。小集団による学習機会を通して他者との関わり方を学び、集団の中で他者と協力しながら課題を解決していくためのコミュニケーション能力を育成する。
家庭	各分野での実習を通して、社会とのつながりを意識し、地域に貢献できる人材を育成する。また、これらの活動の中でけじめや礼儀を身につける。基礎学力の向上とともに、課題解決ができる生徒の育成を目指す。
情報	スマートフォンやタブレットの使用モラルを守りつつ、機能を最大限活用することができるようになる。また、変化の激しい社会の中で、情報を正しく取捨選択する力を身につける。

総合的な探究の時間

横断的・総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。また、実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題をたて、まとめ・表現できるようにする中で、自立した人間として他者とともによりよく生きる実践的態度を養う。

特別活動の時間

生徒会活動、部活動、ホームルーム活動、学校行事を通して、主体的に考え行動する力を育てる。また、集団活動の中で他の考えを尊重し協力する体制を構築する。さらに、集団や社会の一員としての責任を果たすことで、人間としての在り方や生き方を考えさせる。

各分掌の計画

教育総務	生徒の学習意欲と自立心・向上心を高めるよう、学習環境の整備を行い、主体的に学習できるよう努める。また各分掌と連携し、生徒が安心して活動できる場を整える。保護者や地域の方々と連携できるように開かれた学校づくりを行っていく。各種式典や学校行事を通してお互いを思いやる豊かな心と母校・郷土を愛する心を育む。5S運動を推進させる。
人権教育 生活指導 ・	体育祭や文化祭などの学校行事を通じて、他者との調和を重んじながら自主的に活動し、最後までやり抜く力を育む。また部活動では、心身の向上と活性化を図る。さらに社会の一員であることに自覚を持ち、諸規則を守り、人権を尊重し、いじめのない友人関係が築けるように指導する。
指導路	自分の将来を見つめ、主体的に進路について考えることのできる生徒を育成する。また、各種活動を通して多角的な視点を持たせ、進路への考え方や学習に取り組む姿勢を養う。
第1学年	集団生活のなかで高校生としての自覚を高め、自己実現に向け規律ある学校生活を送れるよう指導する。また、日々の授業を基本としつつ、部活動・生徒会活動を通して自らと他者の個性を尊重し合う人間関係を築き、主体的に活動に取り組む態度を育む。
第2学年	学校生活全体の中核を担う活動を通して、他者を思いやる心の育成とともに、自己を高める意識を持つ。また、各自が教科活動と課外活動に意欲的に取り組み、最後までやり遂げるように指導する。
第3学年	成人になることも踏まえて、「自由と責任」を意識し、社会や組織の一員である自覚を持たせる。進路を見据えて真摯に学習に取り組むことはもとより、最高学年として自分のことだけでなく相手の立場や集団でのあり方などを深く考えて行動する態度を育む。

地域との連携

地域活動に協力することで、より良い集団や民主的な社会を形成し、社会全体の利益を図ろうとする公共の精神を育成する。地域に貢献できる人材としての生き方を目指す人格の基盤を形成する。